



## 令和元年台風第19号に関する気象データを公開します ～企業等における災害被害軽減の検討にお役立てください～

気象データを活用したビジネスを検討していただくための「気象過去データ利用環境」に、令和元年台風第19号に関する気象データを追加します。

気象庁では、気象データの利用の推進に向けた企業等のニーズや課題等进行分析するため、令和2年3月末までの間、企業等が一定期間の気象過去データを実際に利用できる環境を用意しています（令和元年6月28日報道発表）。

このたび、本環境に令和元年台風第19号に関連する気象データを追加します。

台風第19号は、2019年10月12日19時前に伊豆半島に上陸後、関東地方を通過し、13日未明に東北地方の東海上に抜けました。その影響により、関東・東北地方を中心に広範囲で被害が発生しました。今般公開する気象データを活用いただき、企業等における災害被害軽減に資するサービスの検討にお役立てください。

気象庁では、利用者の方から頂いたフィードバックを評価・検討し、今後の情報提供業務の改善につなげて参ります。

なお、利用にあたっては必要な申請等については、以下のページをご覧ください。

### 【気象過去データ利用環境】

[https://www.data.jma.go.jp/developer/past\\_data/index.html](https://www.data.jma.go.jp/developer/past_data/index.html)

### <参考>台風第19号に関する資料

#### 災害をもたらした気象事例

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/2019/20191012/20191012.html>

#### 警報の危険度分布の過去事例

<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/meshjirei/jirei03/doshamesh/index.html>

問合せ先：総務部 情報利用推進課 和田、分木、戸松

電話 03-3212-8341（内線 4220, 4261, 4264） FAX 03-3211-8083

## 今回提供する気象データについての紹介

### 1. 数値予報データ

物理学の方程式により、風や気温などの時間変化をコンピュータで計算して将来の大気の状態を計算した結果で、地上から上空までの立体的な気象予測のデータです。このうち、メソアンサンブル数値予報 GPV は、2019 年 6 月から新たに提供を開始したデータで、複数の予測により、気象現象の発生を確率的に捉えることができるものです。

<提供データ>

メソ数値予報モデル GPV、局地数値予報モデル GPV、メソアンサンブル数値予報 GPV

### 2. 気象衛星観測データ

静止気象衛星ひまわりによる観測・解析データです。気象衛星ひまわりでは 16 種類の波長帯で観測を行っています。「気象ひまわり標準データ」と「NetCDF 形式データ」は、波長帯ごとのデータとなっており、単独で利用することもできますが、組み合わせて分析することで活用範囲がますます広がります。高分解能雲情報は、気象庁が複数の波長帯のデータを組み合わせて算出したデータです。

<提供データ>

気象ひまわり標準データ、NetCDF 形式データ、気象衛星画像データ、高分解能雲情報

### 3. 降水量の分布を表すデータ

解析雨量は、観測所での雨量の観測データと気象レーダーによるデータを組み合わせて作成した降水量分布のデータです。降水短時間予報と降水 15 時間予報は、降水量分布の予測のデータです。

<提供データ>

解析雨量、降水短時間予報、降水 15 時間予報

### 4. 大雨による災害の危険度を表すデータ

大雨による災害の危険度を把握するための指標として、土壌雨量指数、表面雨量指数、流域雨量指数があります。土壌雨量指数は、降った雨が土壌にどれだけ貯まっているかを表し、表面雨量指数は、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを表し、流域雨量指数は、対象の地点が河川の上流域に降った雨により影響を受けるかを表します。

土砂災害警戒判定メッシュ情報、大雨警報(浸水害)危険度分布、洪水警報危険度分布は、これらの指数等を基にして、災害発生の危険度の高まりを階級で表示したものです。

<提供データ>

土壌雨量指数実況値・予想値、表面雨量指数実況値・予想値、流域雨量指数実況値・予想値、土砂災害警戒判定メッシュ情報、大雨警報(浸水害)危険度分布、洪水警報危険度分布

## 5. 台風に関連した情報・データ

台風の現在の状況や進路や強度等の予想をお知らせする情報や、台風の暴風域に入る確率の分布を示したデータです。台風の強度や暴風域に入る確率は、2018年3月から5日先までの予想を提供しています（それ以前は3日先までの予想）。

<提供データ>

全般台風情報、台風解析・予報情報、台風の暴風域に入る確率分布、

## 6. 防災気象情報

気象庁が発表する防災気象情報です。気象庁が発表した防災気象情報は、自治体や防災機関に直ちに伝達されると同時に、テレビやラジオ、インターネット等を通じて広く国民にお知らせされます。

<提供データ>

気象特別警報・警報・注意報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報、警報級の可能性、地方気象情報、府県気象情報